

切除不能転移性大腸癌におけるフルキンチニブの有効性と安全性に関する後方視的検討

1. 研究の対象

2024 年 11 月から 2027 年 10 月に国立がん研究センター東病院にて、切除不能転移性大腸癌に対してフルキンチニブを受けた成人患者もしくは 2013 年 3 月から 2027 年 10 月に国立がん研究センター東病院にて、切除不能転移性大腸癌に対してレゴラフェニブ、トリフルリジン・チピラシル、トリフルリジン・チピラシル＋ベバシズマブを受けた成人患者

2. 研究目的・方法

研究目的：フルキンチニブと他の治療（レゴラフェニブ、トリフルリジン・チピラシル、トリフルリジン・チピラシル＋ベバシズマブ）の有効性と安全性を比較検討することで、より適切な治療選択に繋げること。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析を行います。

研究期間：研究許可日～2029 年 12 月 31 日まで

3. 研究に用いる情報の種類

情報：大腸癌における臨床病理学的特徴および遺伝子異常、年齢、性別、開始日、フルキンチニブ、レゴラフェニブ、トリフルリジン・チピラシル、トリフルリジン・チピラシル＋ベバシズマブの投与量、化学療法に伴う有害事象、増悪日、死亡日など

本研究に用いる情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に加工した状態で取り扱い、研究目的以外には使用しません。

4. 外部への情報の提供

今回の研究は当センターのみで行うため、他の機関へ情報提供を行うことはありません。

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター東病院

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
電話番号：04-7133-1111

研究責任者：消化管内科 川添彬人
研究事務局：消化管内科 山本一将

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するために、第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。

このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター東病院 消化管内科 山本一将、川添彬人
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
電話番号：04-7133-1111 FAX 番号：04-7134-6928